

3年次で道徳『昔と今を結ぶ糸』が実施されました。

◆今回の記事は、9月25日付けの3年次通信から引用させていただきました。

3年次の平和研修の京都では、2日目8人班、3日目4人班でタクシー研修を行います。それぞれのグループで秋の京都を満喫すべくルートを考え、同時にミニ課題探究Ⅲのフィールドワークの計画も立てています。京都のガイドブックや秋という紅葉シーズンであることだけでもワクワクすることしか考えられない状況下で、本研修のテーマがどこかへいってしまっているのではないかと感じる場面がいくつかありました。『和を見つめる』という大テーマには、「歴史を見つめる」「伝統文化を見つめる」そして「日本の未来を見つめる」という思いが含まれています。

そこで、日本人としての自覚を深め、受け継がれてきた歴史や伝統文化の素晴らしさを理解し、発展させていく態度を培うことをねらいとして道徳の学習を展開しました。『昔と今を結ぶ糸』という資料から考えました。奈良の修学旅行の話し合いで、はじめのうちは投げやりな態度をとっていた孝が、グループの仲間や教師の話で、それまで意識していなかった伝統文化の素晴らしさに気づき、感動を覚えるという内容のものです。孝が歴史や文化に感動した理由を学級みんなで考え、最後には自分たちの研修テーマを見つめ、歴史や伝統文化を見つめることが、「未来の日本を見つめる」ことにどうつながるのかをR80にしました。道徳の学習後、タクシー研修の内容がさらに有意義なものに見直されています。下に、10名の生徒たちのR80を掲載します。

- ★写真や映像ではなく、実物を見られること、当時の人々の思いに触れるこの平和研修の価値を学んだ。だから、しっかりと計画を立てて、有意義な研修にしたい。
- ★ただ楽しいだけで終わらないように、歴史や文化に触れるときに、昔の人の思い、努力、願いを感じられるようにする。また、過去を学ぶことでもっと明るい未来を作れる人になりたい。
- ★僕はこの授業を通して、日本人だからこそ自国の歴史を学ぶ必要があると感じた。なぜなら、歴史は日本が作り上げてきた努力の塊だと気づいたからだ。
- ★今回の平和研修では、「歴史の糸」を感じとれる学習をしたい。なぜなら日本人の誇りとしての伝統文化を知る大きなチャンスだと思うからだ。
- ★平和研修では、これまで日本が作り上げてきた伝統や起こってしまった悲惨な過去をしっかりと見つめてきたい。なぜなら、自分たちにはそれらを世界や未来に伝えていく義務があるからだ。
- ★一人一人が目標をもって臨み、日本人としての誇りや日本人として生まれた喜びを実感できると良いと思う。そのために、タクシー研修のルートを見直したい。
- ★私も孝のように浅はかな考えをもっていた部分がある。だから、これからは伝統文化を守ってきた人々の思いに触れて、自分の中の考えを深めていきたい。
- ★今まで知らなかった昔の日本の姿を知って、自分がいる今の日本の姿を見つめ直すきっかけにしたい。また、未来につなげるために感動や感じたことを伝えられる人になりたい。
- ★日本人であることはどういうことなのか、について考えたいと思った。なぜなら外国人にインタビューをしながら、彼らから見た日本の姿を見つめてみたいと思ったからだ。
- ★先人たちの思いを今を生きる私たちが受け止めるために平和研修があるのだと思う。そして、その思いを私たちも次世代に引き継いでいかななくてはならないと感じた。

